

2008.7.24

有限責任中間法人全国優良石材店の会
平成 20 年度 第2回全優石理事会議事録

日 時:平成 20 年7月 16 日(水)PM.14:00~17:30

場 所:ADK 松竹スクエア 11F 大会議室(東京・築地)

出席役員:会長(吉田 剛)、副会長(大澤秀行、太田 明)、常任理事(小堀良夫、高橋強一、打谷久義、中本芳通、橋口武弘、大西幸雄、柴田清=千葉)、特別理事(吉田岳)、岩手(小野寺稔)、秋田(吉野正)、山形(菅信二)、宮城(佐藤真樹)、福島(湊幹夫)、栃木(竹田真臣)、埼玉(大塚崇行)、東京(印部泰助)、神奈川(石橋将一)、山梨(小林稔)、長野(唐木一平)、静岡(山本隆一)、石川(川元信勝)、愛知(若山雅嗣)、三重(中村幸弘)、奈良(木村好廣)、大阪(代理=四ノ宮教行)、兵庫(山川隆)、岡山(柚木康司)、広島(梅木達也)、香川(岡本俊之)、愛媛(本宮光朗)、福岡佐賀(浦田洋一)、長崎(高木秀成)、熊本(田中隼人)

監 事:小田浩成、加納英行

事 務 局:山崎正子、中村 誠、宮下拓優、石谷祐子、

オブザーバー:佐藤英之(安心施工開発委員会 委員)、

パートナー(株)石文社=関根成久、(株)日本石材工業新聞社=松井 清)、

(株)起案家(城井廣邦、城井祐一郎、中村竜生)、(株)ADK(進藤 裕、

古川 愛)、エージェ(山本昌邦、三澤富雄)

欠 席:北海道(種本尚志)、青森(野月耕造)、群馬(田部井忠史)、

新潟(貝瀬政廣)、滋賀(池田一博)、山陰(景山正人)、山口(西田 栄)、

以 上

7月 16 日現在の本部理事数 45 名、本日現在の理事会出席者数 37 名、委任5名。
『全優石定款』第 40 条第1項の定めによる、本部理事の2分の1以上の出席があり、
理事会は成立した。

I. 開会あいさつ

1. 会長あいさつ

吉田 剛

Ⅱ. 議長選出

『全優石定款』第 39 条第 1 項の規定により、吉田会長が議長として選出された。

Ⅲ. 議案.

第 1 号議案「報告事項」

1. 活動経過のあらまし
2. ビギンズ倶楽部進捗状況
3. 機関誌「ビギンズ(2号)」発行について
4. 合同お墓講座実行委員会
5. 安心施工開発委員会
6. 岩手・宮城内陸地震について
7. 全優石HPのリニューアルについて
8. 2009 年定時総会の開催地について

第 2 号議案「審議事項」

1. 一般社団法人化について
2. 「春彼岸共同広告総括」と「来年度のZTM戦略」について

Ⅳ. 議事の内容および決定事項

1. 第 1 号議案「報告事項」

1. 議長より、報告事項「1. 活動経過のあらまし」に関しては、前もってレジュメを各理事へ送付し、熟読頂くように依頼しているので、報告は省略させて頂く、との説明がなされた。(レジュメ1頁～8頁参照)

2. 「ビギンズ倶楽部進捗状況」について、本部事務局より報告がなされ、会長より補足がなされた。

【報告の概略】

- ・ビギンズ倶楽部サイトの 카테고리(19 種類)の見直しをし、充実をはかった。
- ・現在、ビギンズ勉強会を順次展開中。サークル登録は27件。なお今後も支部長と打合せのうえ、各支部で勉強会を開催予定。
- ・また「Bigin's ビギンズ」という呼称を全優石の中でだけでなく、業界を越えて世の中に広める施策として、城井社長の人脈からビギンズロゴをデザイン

頂いた浅葉克己先生、著名なコピーライター眞木 準氏を中心に城井社長、吉田会長も参画のうえ、ビギンズ準備委員会が発足した。

- ・今後、記者会見等を行うなど、マスコミ等を使いながら積極的に「Begin's ビギンズ」の呼称を広めて行こうと検討している。これは新しいムーブを作ろうとの考えで、全優石とは別の外側における動きである。
- ・この展開がスタートすれば、全優石が立ち上げたビギンズ倶楽部の注目度がアップし、全優石のブランディングに繋がる、との思いがある。

3. 「機関誌「ビギンズ(2号)」発行について、中本常任理事より以下の報告がなされた。 (創刊第2号募集要項と冊子見本参照)

- ・皆様のご協力のもと、第1号は15万部発行することが出来た。引き続き現在、第2号の発行準備に取り掛かっている。
- ・製作にあたり、第1号同様、コスト削減につながる受発注製作方式(会員からの受注を募った後、まとめて製作する)で行う。
- ・今回も皆さんからの受注量が多ければ、1冊当たりの単価がとても安価となるため、ぜひ積極的に活用頂きたく、ご協力をお願いする。

4. 「合同お墓講座実行委員会について」、印部委員長ならびに柴田担当常任理事より、以下の報告がなされた。 (レジュメ11頁～13頁参照)

- ・本年3月29日 日比谷公会堂で開催予定であったお墓講座が、集客準備不足の理由から秋頃へ延期となり、その後、委員会にて開催に向け準備検討を重ね、以下のような内容が決定した。

- 開催時期 : 平成20年10月25日(土)
- 開催会場 : 九段会館(収容人数1,112名)
- 講座内容 : プログラム1「お墓は人生の旅講座」…吉田会長講演
プログラム2「ビリーバンバンコンサート」
- 告知方法 : 読売新聞(全面広告1回)の東京版を活用
- その他の告知 : チラシや機関誌ビギンズ第2号の利用
- 集客方法 : 開催地ならびに周辺地区の会員(東京・埼玉・千葉・神奈川県)がチラシや機関誌ビギンズ第2号を使って、積極的にお客様の集客をはかる。
- 入場券 : 入場チケットは1枚2,500円(ペアで5,000円)とし、800枚を関東地区会員(東京支部が中心)が購入協力を行う。
またチケットは3種類(会員用、マスコミ関係者用、一般消費者用)用意する。

5. 「安心施工開発委員会について」、高橋委員長(担当常任理事)ならびに佐藤委員より報告がなされ、質疑応答が行われた。(レジュメ11頁参照)

【委員長からの報告】

- ・当委員会としては、2年後に迎える全優石標準施工の完全実施に向け、2007年第5回定時総会にて承認された全優石推奨施工方法を本年度中に50%の実施(または取り組む意志の表明)に向けて推進したい、と考えている。
- ・この推奨施工方法は昨今の地震災害を考慮し、全優石で開発した免震棒を更に改良し、更に免震効力を発揮するブチルゴムを施工に取り入れた方法である。
- ・なお宗教上の理由から免震棒を使えない、との意見を聞いている。その場合は、免震効力に優れるブチルゴムだけでも活用頂きたい。

【佐藤委員からの報告】

- ・所属の広島支部ならびに周辺の支部では、地震に対する施工の必要性について意識が低い。ただし自社としては、組織から認定されたお店としての“証”として、お客様に安心頂けることを目的に地震対応の施工を行っている。安心の証という点を考えると重要なことではないか。

【質疑と回答】

質疑…長野支部

- ・推奨施工ということで積極的に活用したが、免震棒を入れる加工において困ったことが生じている。具体的には白御影石ならば免震棒を入れる穴を開けても問題はない。しかし黒御影石の場合(スエーデン、インド、アフリカなど主な黒御影)、穴を開けた縁の部分に「ヒビ」が入ってしまう。
- ・施工責任との立場から既に取り替えたケースもあり、寒冷地において黒御影石に免震棒を使うことは難しい。

回答…会長

- ・地域的な諸条件を考えると、全会員共通の全優石標準施工を確立するには様々な問題があるようである。
- ・そのため支部単位あるいはブロックで、地域の諸条件を考慮した施工方法を検討し、それを支部標準施工へとステップアップさせて行く方が望ましいと思える。

- ・必要であれば、私も高橋委員長も一緒に伺い、支部単位で施工方法を確立頂けるよう、またその必要性を呼び掛ける。

6. 「岩手・宮城内陸地震について」、事務局より以下の報告がなされた。

- ・6月14日、岩手・宮城内陸地震が発生し、当該会員、支部長に確認の結果、被害の大きかった会員は、岩手支部の(有)報恩堂石材と東北協同石材(株)、宮城支部では石心興業(株)の3社と判明した。
- ・そこで救援要請のあった被災会員(岩手・(有)報恩堂石材)の被害状況調査の為、7月3日、安心施工委員の尾形社長(宮城支部)と本部(山崎事務局長)とで被災地区を訪問した。
 - ①その結果、7月4日に岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟の6支部に、「被災会員救援のお願い」状を発送した。
 - ②その結果、数社から支援の申し出を頂いたが、その後、3社のうち東北協同石材(株)と石心興業(株)の2社から「救済支援の必要無し」との回答があり、残る1社の報恩堂さんも「申し出会員との調整がつかなかったこと」等から、人材の支援は行わないこととなった。
- ・なお7月9日、常任理事会では上記報告を受け、被災会員への救援や見舞金について被災規定に則り検討した結果、「上記の3社に各5万円の“お見舞い金”をお渡しする」こととなった。また新潟支部からは、「前回の地震の義援金の残金の中から、10万円をお見舞い金として被災会員に」との申し出があった旨の報告がなされた。

7. 「全優石ホームページのリニューアルについて」、事務局より報告がなされた。
(レジュメ18頁参照)

8. 「2009年度定時総会の開催地について」、事務局より以下の報告がなされ、開催地である兵庫支部・山川支部長より「当地は皆さんがお使い頂いている歴史ある御影石の産地で、仕事のうえでは、ゆかりの地でもあります。ぜひ多くの方々にご出席頂きたい、心よりお待ちしております」との呼び掛けがなされた。

■開催日程 2009年 2月9日(月)午後2時～

■開催場所 クラウンプラザ神戸(新幹線「新神戸駅」隣接)

2. 第2号議案「審議事項」

1. 一般社団法人化について

- ・事務局より、以下の説明がなされ、会長より補足がなされた。
 - ・本年12月に現行の中間法人法が廃止され、全優石は“中間法人全優石”

から“一般社団法人全優石”へと移行する。出来るだけ現行のまま移行することが望ましいとの会長からの指示により、公益法人協会や司法書士と相談を重ねてきたが、新しい法律では理事会は年4回以上開催し、議事録には出席理事全員の署名捺印、割り印が求められている為（現行理事 45名）、物理的にも現行のままでは対応が難しいため、定款の一部を変更せざるを得ない。

[定款の一部変更について]

基本的には、出来る限り現況を維持する。

- ・組織を一部、以下のように変更する。
 - ・従来の“理事” → 『支部長』、
 - ・従来の“理事会” → 『支部長会』、
 - ・従来の“常任理事” → 『理事』、
 - ・従来の“常任理事会” → 『理事会』

- ・①新定款案には「理事会において決議した事項は、支部長会に報告し、その承認を求めなければならない」との条文を加える。

- ・②従って決議の流れは名称が変わるだけで「理事会（現常任理事会）→支部長会（現理事会）→総会」となり、従来通りで変わらない。

・審議検討の結果、一般社団法人化への移行にあたり、原案の新定款案が満場一致で承認された。

2. 「春彼岸共同広告総括」と「来年度のZTM戦略」について、起案家の城井社長より、原案の説明がなされ、2009年版TVCF並びにJASRAC（著作権楽曲使用料）の無料楽曲について、(株)エージーの山本昌邦氏より説明がなされ、以下の3案が提案された。

A案、B案…新しい下案

C案………はしだ氏の楽曲を外した2008年版CFの一部変更版

・審議検討の結果、

- ①2009年度ZTM戦略は、原案通り満場一致で承認された。
- ②2009年度版TVCFは現況を鑑み、コストを抑えたタイプC案（2008年TVCF改訂）が満場一致で承認された。

- ③2008年TVCFの改訂は、家族の絆の象徴として子供、孫が入った1カットの写真を入れたCMとする。
- ④TVCFに使用する使用料が無料の楽曲選定については、常任理事会に委ねることとなった。
- ⑤2009年度のPR全体における共通スローガンについて、現行の「全優石ならまちがない」から、「認定された信頼 全優石」とすべきかどうかは常任理事会へ委ねることとなった。
- ⑥改訂版のシーン撮影を季節の良い今年のうちに開始したいとの城井氏からの依頼については、拍手を以て了承された。

V. 閉会のあいさつ

副会長 太田 明

上記の理事会議事録の内容に相違ありません。

平成 20 年 月 日

(署名人)議 長 全優石会長 吉田 剛

署名 印

(署名人)理 事 秋田支部長 吉野 正

署名 印

(署名人)理 事 兵庫支部長 山川 隆

署名 印